

福祉

“悩み”を“希望”へつなぎます

大学では児童福祉を学び、児童養護施設での実習や児童相談所に関するニュースにも多く触れてきました。虐待には様々な背景があり、保護者や児童に寄り添いたいと思い、志望しました。児童相談所では、子育てに関する様々な相談があります。保護者の想いと子どもの想いがあり、ときには保護者と子どもの気持ちがぶつかりあうこともあります。双方の気持ちに寄り添いながら、家族にとってよりよい形になるよう努めています。今後も、岐阜県の福祉行政を最前線から支えていきたいと思っています。



中濃子ども相談センター
青木 主任
入庁7年目



様々な領域で経験を積み重ね、多くの人たちと繋がることができます

建築

技術や知識を磨き、魅力あるまちづくりを担います

大学で学んだ建築の分野で地元の岐阜県に貢献したいと思い、志望しました。現在は、本庁で建築基準法、建築物省エネ法に関する業務を担当しています。具体的には、審査や指導を行う現地機関の建築事務所との調整や相談対応を主に行っていますが、前所属が建築事務所だったこともあって、建築事務所での現場経験を生かすことができている。今後は、建築基準適合判定資格の取得などを通して知識を深め、岐阜県の建築行政に貢献できる人材を目指していきます。



建築指導課
遠藤 主任技師
入庁6年目



まちづくりに携わることができます
建築指導や都市開発を通して

心理

一人ひとりの想いに寄り添います

生まれ育った岐阜県で、心理の仕事を通して、誰かの力になればと思い、志望しました。これまで児童相談所で子どもや保護者の支援に携わってきました。現在は、療育手帳判定を担当していますが、判定に来られる方の中には不安や緊張を抱える方も少なくありません。限られた時間の中で少しでも安心していただけるよう、丁寧にお話を伺うことを心がけています。これからも、適正な判定を行う責任感と温かく寄り添う姿勢を大切にできる職員であり続けられるよう努めていきます。



知的障害者更生相談所
今井 主任
入庁11年目



寄り添う力を生かせる仕事。あなたの力をこの仕事で生かしてみませんか

試験研究

研究を通じて地域産業の発展をサポートします

専門知識を生かして、岐阜県の食品産業を支えたいと思い、志望しました。現在は、食品企業からの技術的な相談などに対応しながら、自身の研究課題の清酒やクラフトビールに関する研究を行っています。企業からの技術相談は多岐にわたり、自分自身も勉強になることが多いです。こうした相談から、現状の課題やニーズを的確に把握し、研究内容に反映することを心がけています。私の研究や技術支援を通じて、岐阜県内の食品企業の活性化に貢献していきたいです。



多様なフィールドで自分自身の成長と地域貢献が両立できます

食品科学研究所
久松 主任研究員
入庁7年目

